

念仏の本質が見えてくるのではないでしようか？

「南無阿弥陀仏」と声に出して称えるという極めてシンプルな行。

それは末法の世という濁る時代の中から、法然上人というファイルターによって絞り出されたエッセンス

でした。その透き通るように澄んだ「口称念仏」というエッセンスは、

八〇〇年もの間色あせることなく、時代を超えて今も称え継がれています。

御棚経

本年度の御棚経は八月十三日、十四日、十五日の三日間です。地区ごとのお参りの日程は左記のとおりです。

- 十三日：水海道、横曾根、羽生、大輪、溜井・ニッ谷
- 十四日：六軒、細野、大口・大口新田、庄右衛門新田
- 十五日：飯沼

各日とも記載の順番のとおり、地区ごとにお参りいたします。よろしくお願いたします。

大施餓鬼会

施餓鬼会は餓鬼に飲食を施す法会です。その始まりは、お釈迦様の

十大弟子の一人阿難尊者が、樹下瞑想中の夜更け時に、口から炎を吹く餓鬼が現れて、あと三日の命であると告げられます。阿難尊者はお釈迦様の指示によって、一器の食を「加持飲食陀羅尼」をもって加持し、その

功德によってその少飲食は無量の飲食となり、一切の餓鬼に施します。この供養により、餓鬼は悉く天に生じ、阿難尊者は福德を得、寿命を延ばすことができました。

餓鬼に施すという善根功德によって、有縁無縁の霊の救いのため、志す精霊の追善のために営むのが施餓鬼会です。

今年も左記の通り厳修いたします。ご参列いただきたく、ご案内申し上げます。

日時 八月十八日(水) 午後一時一五分 お施餓鬼パネルシアター

二時 大施餓鬼会

※是非、午後一時十五分にいらしてください。法要に先立って、大妻女子大学の学生さんによる

お施餓鬼のパネルシアターを上演いたします。

場所 飯沼 弘経寺

※ 永代施餓鬼(申し込まれた年より毎年施餓鬼会にてご回向します、七万円)、新益回向(六尺のお塔婆で

新盆のご回向をします、五千元)、特別回向(新盆以外の精霊や先祖代々を六尺のお塔婆でご回向します、五千元)、付施餓鬼(お札にてご回向します、三千元)

申し込み 各地区のお世話人さんにお問い合わせされるか、直接弘経寺まで申込用紙を同封して現金書留にてお申し込みください。

台所床の張り替え

当山書院脇の台所の床を土生末治さん、海老原泰治さん、石塚正男さんがきれいに張り替えて下さいました。台所が新築のようになりました。土生さん、海老原さん、石塚さんありがとうございます。

水子地藏の赤頭巾

飯沼の飯田洋子さんが赤頭巾を作ってください、すべての水子地藏尊の頭にかぶせて下さいました。お

地藏さまたちが喜んでるように見えます。厚く御礼申し上げます。



地藏講

六月二十二日午前十時三十分、弘経寺のお地藏様の前で、地藏講会員による地藏講法要が営まれました。

お地藏さまに講の興隆と会員各家先祖代々のご回向をお祈り申し上げます。

七月の写経会 七月二十四日(土)

付	話	経	仏	談
1:45	受	法	写	お
2:00	法	写	お	懇
2:20	法	写	お	懇
2:50	法	写	お	懇
3:10	法	写	お	懇

会費一〇〇〇円(高校生以下は五〇〇円) 携行品 小筆(当日受付でも販売します) ※毎月第四土曜日に開催しています。どなたでもご参加いただけます。